

2014～15シーズン スキー同好会第1回運営部会 報告書

出席・・・222、828、1962、2592、2722、2778、2829、2851、3068、3091、3237 (計 11名)

1. 14年度役員の役割分担

部 長	3091
副 部 長	1103、2592、2722
会 計	2829
スキー同好会担当幹事	1962

2. スキー同好会連絡先

①山行計画書、報告書は2人に送付する(書式は規定類集に則ること)

イ) スキー同好会部長宛 (郵送またはメール添付)

ロ) 安全対策部 2007宛・・・2007から会事務所へ回送いただける

(FAXまたはメール添付。事故連絡は2007携帯電話)

②留守宅

同好会役員または会員

③集金した参加費の振込先

郵便振替で納入する場合は、リーダーまたは当該スキー山行会計が、参加費から郵便振替料金を差し引いて、振込用紙通信欄に【山行月日、山行名、会員・非会員の参加者数、CL名】を記入の上、山行後10日以内に次まで振り込んでください。

郵便振替口座番号：00830-2-117313

加入者名：ふわく山の会スキー同好会

3. 来シーズンの活動方針(総会議案書掲載)

①スキーは、生涯スポーツです。年齢、体力・技術に応じて、スキーを楽しみたいと考える方々、スキー技術向上をめざしたい方々、スキーを再開したいと考えている方々など、さまざまな要望をもったスキー愛好者の参加しやすい、公開スキー山行となるよう計画・運営方法を工夫します。

②中高年の安全で楽しいゲレンデスキーをめざして滑走前に「用具の安全確認」「入念な準備運動」「周囲の確認」「無理せず、背伸びせず」など安全スキーの原則を参加者に徹底するよう努めます。

③初級者が安心して参加できるよう、みんなでサポートします。

4. スキー同好会の申し合わせ事項

①スキー同好会役員の任期：部長、副部長、会計の任期は原則として2年とし、再任を妨げない。

②スキー山行参加費：リーダーは会員一人一回につき100円、非会員一人一回につき600円を参加費として集金し、部の会計に納入する。また、事務費として一人一回につき、日帰り100円、泊付200円を集金し、リーダーに支払う。

③スキー教室：(ア)初心者には状況により現地のスキースクールに個人的に参加するよう勧める。

(イ)現地指導員のスキースクールの費用は個人負担とする。ただし、初級コースに限り一山行につき500円の補助をする。

- ④スキー山行計画：(ア) 8月下旬の運営部会で、シーズン全体の計画を作成する。山行日程はふわく山の会「特定日の山行自粛に関する規程」に従って計画する。
(イ) 各山行のリーダーは、運営部会で決定したスキー山行計画に従い、会報に掲載する案内の原稿(月例山行案内原稿)を、毎月の会報原稿締め切り日案内に従って会報部に提出する。取り消しや実施日・山域などの変更があるときは、各リーダーが出来るだけ早く部長に申告し、承認を得てから会報原稿を提出する。この場合部長は、会報原稿が提出されるまでに会報部保管のスキー山行予定表を訂正するとともに、会報部に変更原稿を提出する。
(ウ) 各山行のリーダーは、実施日までに山行計画書を、スキー部長自宅と安全対策部長宛に提出する。参加者への山行計画書配布も原則同様とするがリーダー判断により実施当日も可とする。
計画書に変更のあった場合には、速やかに再提出すること。
- ⑤スキー山行報告：(ア) リーダーは山行実施後10日以内に、山行報告書を、スキー部長自宅と安全対策部長自宅宛に提出する。
(イ) 部長は提出された山行報告書を確認する。
- ⑥事故報告の仕方：(ア) 事故の場合、リーダーは本人の状況を確認の上、部長及び安対部長に電話連絡し、事故報告書を、速やかに部長及び安対部長に提出する。事故者は、保険担当者へ速やかに連絡し指示を受ける。
(保険手続き上1ヶ月以内。スポーツ安全保険担当は、2879
 労山個人賠償保険担当は、3024)
部長は、リーダーから提出された事故報告書を確認のうえ、直近のスキー部会で再発防止策などにつき討議し、討議結果を安対部長に報告する。
- ⑦安全スキーの徹底：リーダーおよび参加者は事故防止のために、用具の点検、準備運動、安全意識の再確認(ゲレンデ状況、無理せず・背伸びせず、体調、滑走マナー等)を励行する。

5. 会計報告

- ・繰越金 65,276円
- ・部費購入のホットワックス用具、チェーンアップスタンド：メール配信にて紹介しました。
- ・ワックス、スクレーパー、スクレーパー研ぎ器等消耗品は個人所有とする。

6. 今年度の実績 (Bプラン)

実施：3山行(4月奥美濃、5月志賀、7月ウイングヒルズ)(男7、女3)

中止：ゲレンデ終了2、申し込みなし2、台風1、無料デイ終了1

- ・男性参加者が多いことが特徴だった。

7. 来シーズンの活動計画策定 (別紙で掲載)

- ・『初心者スキー教室』はBプランで開催
- ・海外スキー山行(ツェルマット)を実施
- ・ネイチャースキーヤー、山スキーヤーとの交流も視野にした企画

8. スノーフェスタとの関わり

会の行事であり、同好会で協力できる方は積極的に協力する。前回、コーチがいるなら参加したいとい

2014.8.26 火 15:00～17:00
ふわく事務所

う声も 5～6 人からあった。

同好会のプランは重複しないようにする。そのため日程は 8 月以前に決めてほしいが、現時点で見通しがない。例年開催される 2 月 2 週目に同好会山行予定を入れないことで対応する。

9. その他

- ・担当幹事は、所属メンバーで幹事がいる場合に配置する。
- ・インフルエンザ等感染症の対策については、2014 年 3 月 17 日の運営会議で確認をしました。内容はリーダーを中心にメール配信して共有しました。

次回会議予定 2015 年 3 月 17 日 (火) 15:00～17:00